

2018年8月号

衣類のお手入れ通信

暑中お見舞い申し上げます。今月は山の日があります。「16日目の祝日」として8月11日に制定された「山の日」は「山に親しむ機会を得て山の恩恵に感謝する」日です。今年の夏は猛暑日が多く感じます。クーラーなど冷房をうまく使って乗り切りましょう。

【夏場に起こりやすい色物の事故】

夏場は衣服から他の衣服への色移りや、生地濃色部から染料が流れ出し淡色部を汚染する、色泣きなどの事故が起こりやすい季節です。そこで今回は、夏場に起こりやすい色移りや色泣きの事例と、その対処法をお教えしましょう。

海やプールから帰ってきて水着や衣服を洗おうとした際に、色移りや色泣きが起こってしまっていることがあります。原因は、濡れた衣服と濡れていない衣服を一緒にしていたためです。水分は、乾いたところに移動しようとする性質があります。濡れた衣服と乾いた衣服が長時間重なっていると、濡れた衣服の水分が乾いた衣服に移動し、色移りや色泣きが起こってしまうのです。

色移りや色泣きは温度が高いほど起こりやすいため、夏場は特に注意が必要です。炎天下での車中、荷物を入れるトランクは非常に高温になっています。この高温のトランク内に、濡れた水着や衣服と濡れていない衣服を同じビニール袋などに一緒に入れて置いておくと、すぐに色移りや色泣きの現象が起こってしまいます。できれば脱衣用のビニール袋を4枚用意して、濡れたものとそうでないもの、色の濃いものとそうでないものを分けるとよいでしょう。そして、濡れた衣類だけは保冷バッグに保冷剤と一緒に入れておきましょう。そうすれば車内温度が高くなっても保冷バッグの中は高温にならないので、色移りが起こりにくくなります。

また、プールの水は塩素が含まれているため、その水で濡れてしまった衣服や水着は脱色しやすくなります。プールや海に出かけた際は、濡れた水着やタオルなどを真水でいったんすすぎ、塩素や塩分をよく洗い流してから袋に入れるようにすれば色移りや色泣きを防ぐ対策のひとつになります。

最近の染料は、いったん色移りや色泣きが起こると家庭洗濯では落とすきれません。実は、我々プロでも落とすのは至難の業なのです。こまめな対策で、海やプールを楽しんでください。

定休日：日曜日・祝日 営業時間：7時30分～19時

〒496-0901 愛知県愛西市佐屋町新田1-6 TEL・fax0567-26-9880 <http://105-929.com>

発行者：東郷俊博

愛知県愛西市、弥富市、蟹江町、飛島村、津島市、集配致します。